

# 技 術 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成26年度病害虫発生予察技術情報第3号

## 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ） 新世代の発生量及び果樹園への飛来時期について

8月以降は果樹カメムシ類が越冬成虫から新成虫に入れ替わる時期となります。

現在、新世代は主にヒノキのきゅう果上に生息し、きゅう果が餌として好適な期間はヒノキ上にとどまりますが、吸汁によってきゅう果の劣化が進み、餌として不適となるとヒノキから離脱して果樹園へ飛来します。

今後の発生については下記のように予想されますので、果樹園への飛来に注意してください。

### 記

#### 1. 新世代の発生量について

- (1) 7月下旬に実施したヒノキきゅう果のピーティング調査の結果、1枝当たりの寄生虫数は2.5頭（平成2.0頭）と平年よりやや多かった（表1、2）。
- (2) 7月下旬に実施したヒノキのきゅう果着生状況調査の結果、県内15地点の平均着生量は3.5（平成2.9）と平年に比べやや多かった（表1、2）。
- (3) 新世代の発生量はヒノキのきゅう果着生量との関係が認められることから、9月以降の発生量は平年に比べやや多いと予想される。

表1 ヒノキ樹(きゅう果着生枝)における果樹カメムシ類の寄生状況（平成26年7月22、23日調査）

	チャバネアオカメムシ(頭/枝)					ツヤアオカメムシ(頭/枝)					合計	きゅう果着生量**
	成虫	老齢	中齢	若齢	計	成虫	老齢	中齢	若齢	計		
平成26年	0.4	0.1	0.7	1.3	2.4	0.1	0	0	0	0.1	2.5	3.5
平年	0.4	0.3	0.4	0.5	1.7	0.1	0.2	0.0	0.0	0.3	2.0	2.9

\* 平成26年7月22日、23日にヒノキきゅう果結実枝のピーティング調査を実施

\*\* きゅう果着生量は5段階(多:5、やや多:4、中:3、やや少:2、少:1)で区分し、全調査地点の平均値を示した

表2 果樹カメムシ類の寄生状況およびヒノキのきゅう果着生量の年次別推移

年度	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	平年	26年
寄生虫数(頭/枝)	0.6	0.2	3.0	0.3	1.8	2.6	2.6	1.2	2.8	4.7	2.0	2.5
きゅう果着生量	2.0	4.8	2.9	1.6	4.4	2.4	2.6	3.1	3.0	2.2	2.9	3.5

注1) 値は長崎県病害虫防除所の調査(ピーティング法)による

注2) きゅう果着生量は、程度を5段階(多:5、やや多:4、中:3、やや少:2、少:1)として遠観調査した

#### 2. 果樹園への飛来時期について

7月22、23日に採集したヒノキきゅう果上の口針鞘数調査の結果、口針鞘数は1.2本（平年

2.0本)であり、算出したヒノキからの離脱予測日は地域により幅はあるものの、平均9月9日(平年 9月9日)と平年並である(表3、4)。新世代虫の寄生数は2.5頭/枝(平年2.0頭/枝)とやや多いことに加え、ヒノキきゅう果着生量もやや多い傾向であるため、今後の新世代虫の発生量はやや多いことが予想される。

表3 ヒノキきゅう果における口針鞘数及び離脱予測日

調査地点	口針鞘数 (1果当たり)	離脱予測日
諫早市多良見町東園	0.3	9月12日
"          佐瀬	1.1	9月10日
長与町岡	1.0	9月10日
時津町西時津	3.0	9月3日
西海市西彼町小迎	0.5	9月12日
西海市西海町木場	0.6	9月11日
諫早市長田	2.7	9月5日
大村市今村	0.5	9月12日
東彼杵町赤木	0.1	9月13日
雲仙市瑞穂町伊福	1.8	9月8日
雲仙市国見町百花台	0.0	9月14日
南島原市有家町新切	0.1	9月14日
南島原市北有馬町田平名	1.0	9月11日
佐世保市宮	3.8	8月31日
佐世保市針尾	2.3	9月5日
平均	1.2	9月9日

表4 口針鞘数及び離脱予測日の年次別推移

年度	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	平年	26年
調査日(月/日)	7/22	7/19	7/28	7/28	7/28	7/26	7/28	7/22	7/26	7/22	7/24	7/22
口針鞘数(本/果)	3.1	0.1	3.7	0.8	1.9	2.5	2.4	0.7	2.8	2.5	2.0	1.2
離脱予測日(月/日)	9/2	9/10	9/6	9/17	9/13	9/9	9/11	9/12	9/8	9/5	9/9	9/9

注1) 平成26年7月22日、23日に採集した、きゅう果30果についての口針鞘数を数えた

注2) きゅう果は1果当たりの口針鞘数が25本以上になると餌として適さなくなり、餌不足になったカメムシはヒノキから離脱して果樹園に飛来する

注3) 予測日は予測式(福岡県農業総合試験場作成)を利用して算出した

### 3. 防除上注意すべき事項

- (1) 上記の予測日を参考に園の見回りを徹底し、飛来が見られたら早急に防除を行う。
- (2) 飛来時期や飛来量は、同一地域内でも園によって異なる場合があるので注意する。

6月1日から8月31日までの3ヶ月間を「農薬危害防止期間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027